

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成20年度第3回臨時会
開催日時	平成20年11月27日（木曜日）午後1時から3時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：村田委員、服部委員、木山委員、一方井委員、浅野委員、小西委員、大澤委員 事務局：奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 諸報告 2 事業計画・部門主要施策について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市図書基本計画（案） 2 部門主要施策 3 第1次図書館事業長期計画 平成21～30年度（素案）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
○会長： 本日は、案内では図書館組織計画について、議論することになっていましたが、前回までの協議会での指摘を受け、図書館側で事業長期計画を手直ししましたので、本日は、説明をしていただき、意見を述べたいと思います。従いまして図書館組織計画は、次回以降に討議したいと思います。 本日、館長は別の会議のため欠席ですので、副館長に説明していただきます。諸報告について、特にないようでしたら早速事業計画に入り、資料をみながら説明を聞きたいと思います。 ○副館長： 追加資料として、「西東京市図書館基本計画（案）」を用意しました。事業計画にはいる前にこれについて説明します。 この計画は、西東京市総合計画、西東京市教育計画、西東京市生涯学習推進計画に基づき、西東京市図書館の事業の充実を計るため策定するものです。計画の期間は、平成21年度から10年間とします。	

第1章に、上位計画の大系として、西東京市総合計画（平成16年度から25年度）、西東京市教育計画（平成17年度から21年度）、西東京市生涯学習推進計画（平成16年度から20年度）を掲げます。

これを受けて、第2.章に西東京市図書館基本計画ということで、1 図書館事業計画、2 図書館組織計画、3 図書館施設計画という構成を考えています。

図書館事業計画は、部門別に成人、児童、地域・行政資料、ハンディキャップサービスで構成されていますが、広報とコンピュータも担当者に作成を依頼しています。

図書館組織計画は、西東京市行財政改革に伴う図書館の取り組み 推移と現況 ということで、委託化とかアウトソーシングがあって、図書館組織は定数を減らし、職員構成を変え、市民嘱託員制度を進めながら検討を加えていくということを書こうと考えています。

図書館施設計画は、公共施設適正配置計画及び保全計画があり、全ての施設がこの計画の中で位置づけられています。

課題として、施設の老朽化の解消、管理・運営・業務の委託化、中央図書館機能の拡大があり、施設の方針として、中央図書館を中心としたネットワーク網の強化、市民の身近な学習施設として、学習機会の創出をめざした機能補填、近隣図書館を含めた連携、複合重層化ネットワークがあげられます。

○委員：

上位計画の体系についてですが、上位計画に基づいて位置づけることは常道だと思います。しかし、それぞれの計画の年度がまちまちで、図書館基本計画の期間である平成30年度までに終わってしまうものもあるので、新しい計画を追加していった方がよいと思う。また、期間内に終了してしまう計画も並べた方がよいと思う。

○委員：

ここにある3つの計画以外にも計画があるということならば、図書館は、行政の位置づけの中で、広い役割を担っており、多くの計画に出てくるということなので、それを入れた方がよいと思う。

また、上位計画という名称は、同じ市の計画なのでおかしいと思う。市基本計画とか市全体計画というようにした方がよいと思う。

○副館長：

事業計画の部門別に移ります。2種類の資料がありますが、両方とも各部門のテーマを掲げ、その下に具体的な事業内容や実施項目を載せています。

また、A3資料は、年次を追ってどのようなことを実施していくか書いてあります。これらを見ていただき、言葉遣い、内容について、整合性等チェックしていただきたいと思います。

○会長：

成人サービスから始めたいと思います。

○委員：

用語についてですが、キャリアアップ、ビジネスパーソン等はカタカナでなく、日

本語表記の方が良いと思います。

構成についてですが、一般、児童等の対象別を仮に横軸にして、図書、逐次刊行物、視聴覚資料等の資料別を縦軸にし、くくりがあった方が理解しやすいと思います。

サービスと資料を結びつける資料組織の構成を作ったらうまくおさまるのではないかと考えます。

○委員：

毎年作成している年次の事業計画は、職員が長年やってきたことだから言葉も練れていると思います。これを基礎において、10年分したら良いと思います。

項目を追加したり、また、部門の再構築はこの協議会で議論することではないかと考えます。

○委員：

平成20年度事業計画との整合性を手直しし、これに則って分類し、作成した方が良いでしょう。

○委員：

項目をくくるとわかりやすくなると思いますので、順番は前後しますが、次のように、1 資料組織・提供、2 サービス事業、3 施設・設備、4 協力事業、5 職員組織、6 サービス評価、7 安全管理というようにまとめてみました。

○副館長：

年次事業計画と部門別を書き直して、次回協議会の前週までに送付します。

○会長：

時間になりましたので、本日の協議会はこれで終了いたします。次回は、12月25日開催予定です。その後は、1月22日、2月26日、3月26日を予定していますのでよろしくお願いします。